

看護学科 [4年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

看護学科では、卒業認定・高度専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 ものごとを論理的に思考する力を高められる人
- 3 自分と他者を大切にし、自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を高める努力ができる人
- 4 人々の健康と生活に関心と学修意欲を持ち、看護専門職として多職種と協働し続ける意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

看護学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 国家資格に必要な専門的知識を1年次から段階的・主体的に学べるカリキュラムを構築している
- 2 健康の危機的状況を判断し、科学的根拠をもとに基本的な看護援助が実践できる能力を獲得できる
- 3 少子・超高齢化ならびに多様な社会において、人々が自分の健康に関心を持ち生活ができるよう、医療・福祉施設、地域社会の協力・連携のもとで保健指導力を育成する
- 4 講義・演習において各教科の達成目標・到達点を明確にし、学生の成長を客観的に評価するとともに学生自身が自己成長につながる
- 5 学年の枠を超えて学び合う教育環境により、学生が成長を実感しながら学べるプログラムを構築している

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

看護学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および高度専門士の称号を授与する

- 1 看護の知識・技能の習得により、看護師として地域社会・国際社会に貢献できる
- 2 対象の生命を護るために必要な観察力・判断力を身につけている
- 3 科学的根拠に基づいた看護技術力を身につけている
- 4 4年間教育の中で自己の将来像をみつめ、職業観と社会人としての倫理観を醸成し他者に対応できる力を鍛える

目指す資格

- 看護師 [国家資格]
- BLSプロバイダーコース合格 (日本循環器学会)
- 赤十字ベーシックライフサポーター認定 (日本赤十字社)
- 救急法救命員

主な科目内容

教育心理学	人格形成および発達に果たす教育の役割を理解し自他とともにその関わり方に教育的配慮ができる力を養う。コミュニケーションの基礎となる人間関係論を学ぶ。
教育学	教育の諸分野(理論・教授法・学級運営・カリキュラム)に関する基礎知識、最近の教育課題、および学校現場での実践について学ぶ。
コンピュータ情報処理演習	コンピュータによる情報処理の基本操作、及びデータの情報化を看護に活用するための基本技術を学ぶ。
倫理学Ⅰ・Ⅱ	社会的存在としての人間共存の規範・原理から、社会的合意により成り立っている倫理に基づいた看護実践の根拠を学ぶ。
コミュニケーショントレーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ	対人援助の基礎となる自己理解・他者理解、およびグループ活動に必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。また、実習時には自己評価・他者評価(患者・指導者・教員)により自己のコミュニケーション能力の自己分析をし、新人看護師として自分の意見や感情をアサーティブに表現できる能力を身につける。
人体の構造学Ⅰ・Ⅱ	看護観察、看護判断、看護技術を根拠に基づいて実施するために人体の構造を系統立てて学ぶ。
人体の構造学Ⅲ(演習)	解剖体の目視により人体の構造を系統的に形状・位置関係を確認し、解剖学用語で説明するとともに、科学的看護の根拠について学ぶ。
疾病治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	症状観察、看護判断、看護ケアを科学的に根拠に基づいて実施するために、人体に起きている当該領域にかかわる疾患の臨床症状、検査所見、画像所見などについて学ぶ。
リハビリテーション論	病院や施設だけでなく在宅療養者や地域で生活している人を対象にリハビリテーション計画を把握し、チームの一員として活動・調整できる基礎的技術を学ぶ。
看護と法律(保助看護・関係法規)	看護実践において生じている様々な問題を制度・法律との関連、及び人々の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や保健医療福祉サービスを評価し調整するために必要な、保健医療福祉の法的基礎を学ぶ。
社会福祉・社会保障論	生活者の保健・医療・福祉サービスを効率的で質の高いものとするために、社会福祉・社会保障の理念・法制度・体系及び生活支援のあり方を学ぶ。
保健指導論	人々の心身の健康、疾病・障害予防、疾病の発生・回復及び改善過程と社会的条件との関連を学ぶ。健康を維持するための自然治癒力・ホメオスタシスの考えを基に病気の科学的な見方を学ぶ。患者家族の生活習慣等行動変容への支援の在り方、および健康な生活を維持・改善・創造するために必要な社会資源の活用方法を学ぶ。
基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ	看護展開の基礎となる対人関係技術、感染予防、バイタルサイン技術の基礎を学ぶ。
基礎看護方法論Ⅱ(清潔)	対象の個別性をふまえた清潔援助を実施するための基本的技術・観察力・判断力を演習を通して学ぶ。
臨床援助技術Ⅰ(与薬)	既習の知識を活用し、薬物療法を受ける対象のニーズに即した、正確かつ安全な与薬技術の基本を学ぶ。
看護研究Ⅰ・Ⅱ	最近の研究の動向や研究方法の特徴などについて理解し研究論文の書き方について学ぶ。看護研究Ⅰ及び、これまでに習得した知識・技術・態度を統合して、看護研究の進め方について学ぶ。
救急蘇生法Ⅰ・Ⅱ	根拠に基づいた心肺蘇生を中心とした救急看護の理論と基礎的技術を学び、多様な救急場面において速やかに行動できるよう心肺蘇生について継続的に学習する。
地域看護学	「地域コミュニティを軸とした協働のまちづくりの実践について」行政担当課による講義を踏まえて、コミュニティの意義とあり方が理解でき、看護師が行う地域看護活動について学ぶ。
看護演習Ⅰ～Ⅺ	既習学習を総合し、模擬患者に必要な看護援助を根拠に基づいて実践する。臨床実習で受け持った患者への看護を振り返り考察し、対象に必要なより良い援助のための一般原則や実践理論について学びを深める。看護を学生間・教員と探求する。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標		1.人間の生命の尊さを理解できる。 2.主体的に学習に取り組む必要性を理解する。	1.人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる。 2.看護に必要な基礎的知識と技術を習得する。 3.自己の健康について考えることができる。	1.対象の生命を尊重できる。 2.主体的に学習に取り組む習慣を身につける。	1.人間の成長発達および健康状態に応じた対象の理解ができる。 2.科学的思考に基づいた基礎看護技術の実践ができる。 3.自らの健康に関心を持ち、人々の健康について考えることができる。	1.個性性を尊重した信頼関係を築くことができる。 2.自らの課題を見つけ、学習に取り組むことができる。	1.科学的思考に基づき対象に応じた看護過程を展開できる。 2.対象や関係職種とともに健康問題の解決に向けて考えることができる。	1.人々の権利を擁護する重要性を理解できる。 2.看護に対する探究心を身につける。	1.自らの看護観を明確にすることができる。 2.看護学の発展のための研究方法を理解できる。 3.対象の健康問題の解決のために、関係機関、関係者との連携、調整の必要性を理解できる。
基礎分野	科学的思考の基盤	講義 教育心理学 講義 教育学	講義 情報科学概論 講義 情報モラル 講義 論理的思考の基礎	演習 コンピュータ情報処理演習 講義 看護物理学					
	人間と生活社会の理解	講義 倫理学Ⅰ 講義 家族社会学 演習 コミュニケーショントレーニングⅠ 講義 法学概論	演習 英語コミュニケーション	演習 コミュニケーショントレーニングⅡ			演習 コミュニケーショントレーニングⅢ 講義 人間理解の基礎		講義 倫理学Ⅱ
専門基礎分野	人体の構造と機能	講義 人体の構造学Ⅰ人体の機能学Ⅰ 講義 臨床生化学	講義 人体の構造学Ⅱ人体の機能学Ⅱ 講義 病理学	演習 人体の構造学Ⅲ(演習) 講義 臨床栄養学					
	疾病の成り立ちと回復の促進	講義 感染防御学	講義 疾病治療学Ⅰ(呼吸・循環・消化器)	講義 疾病治療学Ⅱ(内分泌・免疫・血液) 講義 疾病治療学Ⅴ(生殖系・周産期) 講義 リハビリテーション論	講義 疾病治療学Ⅲ(脳・運動・精神) 講義 疾病治療学Ⅳ(小児・腎・泌)		講義 臨床薬理学		
カリキュラム	健康支援と社会保障制度			講義 社会福祉・社会保障論	講義 公衆衛生学	講義 保健指導論(健康科学概論含む)	講義 保健統計	講義 看護と法律(保助看護・関係法規)	
	基礎看護学 地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	講義 基礎看護学概論Ⅰ(概念・歴史)Ⅱ(倫理・理論) 演習 基礎看護技術論Ⅰ(コミュニケーション・感染) 演習 基礎看護方法論Ⅰ(環境・活動)Ⅱ(清潔) 演習 基礎看護技術論Ⅱ(バイタル・記録)	演習 基礎看護方法論Ⅲ(食事・排泄) 演習 臨床援助技術論Ⅰ(与薬) 講義 臨床援助技術論Ⅲ(経過別・症状別) 演習 看護演習Ⅰ 講義 成人看護学概論 講義 老年看護学概論 講義 小児看護学概論	講義 臨床援助技術論Ⅱ(検査・治療) 演習 基礎看護技術論Ⅲ(フィジカル) 講義 在宅看護概論 演習 看護演習Ⅱ 講義 成人看護方法論Ⅱ(アレルギー・血液) 講義 老年看護方法論Ⅰ(運動・腎) 講義 小児看護方法論Ⅰ(発達段階別) 講義 母性看護学概論 演習 臨床援助技術論Ⅳ(看護過程) 演習 臨床援助技術論Ⅴ	講義 地域・在宅看護方法論Ⅰ(家族援助) 演習 看護演習Ⅳ 講義 成人看護方法論Ⅰ(呼吸・循環) 講義 成人看護方法論Ⅲ(脳・代謝) 講義 小児看護方法論Ⅱ(症状別看護) 講義 母性看護方法論Ⅰ(妊娠・分娩) 講義 精神看護学概論	講義 地域看護学 演習 在宅看護方法論Ⅱ(技術) 演習 看護演習Ⅴ 講義 老年看護方法論Ⅱ(生活等) 演習 小児看護方法論Ⅲ(看護過程) 講義 母性看護方法論Ⅱ(産褥・育児)	演習 看護演習Ⅵ 演習 看護演習Ⅶ・Ⅷ 講義 精神看護方法論Ⅰ(症状別看護) 講義 成人看護方法論Ⅳ(消化器・生殖)	演習 看護演習Ⅸ 演習 看護演習Ⅹ 演習 精神看護方法論Ⅲ(看護過程) 演習 地域・在宅看護方法論Ⅱ(展開)	講義 精神看護方法論Ⅱ(生活)
専門分野	看護の統合と実践				演習 救急蘇生法Ⅰ		講義 看護研究Ⅰ(基礎)	演習 看護研究Ⅱ(実践) 演習 救急蘇生法Ⅱ 演習 看護の展望 演習 看護演習Ⅹ・Ⅺ	講義 国際看護論 講義 災害看護論 講義 看護管理論Ⅰ・Ⅱ 講義 総合看護セミナー
	臨床実習		実習 基礎看護学Ⅰ実習(対象理解)	実習 基礎看護学Ⅱ実習(日常生活援助)	実習 成人・老年看護学Ⅰ実習(看護過程)	成人・老年看護学Ⅱ実習(急性期・回復期) 成人・老年看護学Ⅲ実習(慢性期・終末期) 成人・老年看護学Ⅳ実習(リハ・継続) 実習 地域看護学実習	小児看護学実習 母性看護学実習	実習 地域・在宅看護論実習 実習 看護の統合と実践実習 実習 精神看護学実習 実習 生活援助実習(施設)	
スケジュール		4月 ●新入生歓迎行事 ●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション	10月 ●臨床実習(基礎Ⅰ) ●看護リフレクション	4月 ●新入生歓迎行事	10月	4月 ●新入生歓迎行事	10月	4月 ●新入生歓迎行事	10月 ●模擬試験 ●看護リフレクション
		5月 ●宣誓式参列	11月	5月 ●宣誓式	11月 ●救急蘇生法(日赤救急員救急法)	5月 ●模擬試験	11月	5月 ●模擬試験 ●専門領域別臨床実習 ●宣誓式参列	11月 ●看護研究発表
		6月	12月 ●冬休み	6月 ●模擬試験	12月 ●冬休み	6月 ●専門領域別臨床実習	12月 ●冬休み	6月 ●模擬試験	12月 ●模擬試験 ●卒業前技術演習 ●冬休み
		7月 ●穴吹祭	1月	7月 ●臨床実習(基礎Ⅱ) ●穴吹祭	1月	7月 ●穴吹祭	1月 ●研究会参加	7月 ●穴吹祭	1月 ●模擬試験
		8月 ●夏休み	2月 ●模擬試験	8月 ●看護リフレクション	2月 ●臨床実習(成人Ⅰ)	8月	2月	8月 ●模擬試験 ●BLSプロバイダー講習	2月 ●看護師国家試験 ●看護観発表
		9月 ●スポーツ大会	3月 ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	9月 ●スポーツ大会	3月 ●看護リフレクション ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	9月 ●看護リフレクション	3月 ●看護リフレクション ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	9月	3月 ●卒業式

歯科衛生学科 [3年制]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

歯科衛生学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 歯科衛生士に必要な知識や技術を修得するうえで、高等学校の教育内容を学修している人
- 3 人に関心を持ち、自らが気づく感性を磨き、支援や問題解決に向けて誠実に対象者と向き合う対応力や人間性を有するための努力ができる人
- 4 歯科衛生士として歯科疾患の予防と口腔衛生の向上を図ることを目的に、医療・福祉・地域で幅広く社会に貢献しようとする意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

歯科衛生学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 生命科学について理解し、人と心理および情報処理について深く学ぶことにより、人間理解を育成し対人コミュニケーション力を高めるような実践的授業を実施する
- 2 臨床歯科医学の知識を体系的に学び、予防に関わる社会の仕組みや福祉についても幅広く統合しながら授業を実施する
- 3 歯科予防処置技術の基礎から応用を、技術力の高い教員の指導のもと、学内演習と相互実習で段階的に習得し、より実践的な実習を実施する
- 4 人々の歯と口腔の健康を守り支援するために、問題発見と問題解決ができる総合的な力を身につけられる医療・福祉・地域の臨地実習を実施する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

歯科衛生学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 命の大切さとホスピタリティーの心を持ち豊かな感性と人間性で人と関わることができる
- 2 歯科衛生士に必要な知識と高い歯科予防処置技術を習得し、口腔衛生管理の担い手として地域社会と国際社会に貢献できる
- 3 歯科衛生士として根拠に基づく専門的歯科衛生知識を統合し、わかりやすく伝え多職種と協働するための協調性を身につけている
- 4 口腔だけでなく全身や対象者の心理、ライフステージや背景など広い視野で捉え考えながら柔軟に対応できる力を身につけている

目指す資格

- 歯科衛生士 [国家資格]
- 救急法救命員
- メディカルクラーク (医科)
- 診療報酬請求事務能力認定試験
- 歯科医療事務管理士
- 調剤事務管理士
- 介護事務管理士
- ドクターズクラーク
- 医療秘書検定
- サーティファイ認定 (Word, Excel)

	1 年 次		2 年 次		3 年 次	
	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >
到達目標	歯科衛生士の3大業務「歯科予防処置」「歯科保健指導」「歯科診療の補助」の基礎とともに、解剖学や病理学など基礎分野の知識を習得する。	前期の基礎知識とともに演習を通して技術を身につけるとともに、臨床基礎医学分野の知識も習得する。さらに心理学や教育方法論など医療人としての自覚も身につける。	歯科補綴学や高齢者歯科学などの臨床歯科医学の専門知識を習得するとともに、後期からの臨床実習に備えた技術を身につける。臨床における歯科保健指導の技法を身につける。	一般歯科医院や大学病院での臨床実習を通して歯科衛生士としての基礎技術を学び、専門的な能力や医療人としてのマナーやコミュニケーション能力も身につける。	臨床実習での経験を積み、多職種によるチーム医療について学び、連携できるスキルを身につける。専門的な知識、技術および態度の習得を行う。	歯科衛生士としての知識の集大成として歯科臨床分野について深く理解し、就職後、即戦力として働けるスキルを身につける。国家試験に合格できる知識を習得する。
カリキュラム	講義 生物学 講義 解剖学・組織発生学 講義 生理学 講義 口腔解剖学 講義 口腔組織発生学 講義 病理学 講義 口腔病理学 講義 口腔生理学 講義 口腔衛生学 I 講義 歯科衛生学概論	講義 栄養と代謝 演習 歯牙解剖学 講義 薬理学 講義 微生物・口腔微生物	講義 口腔外科学・麻酔学 講義 歯科矯正学 講義 歯科補綴学 講義 障害者歯科学 講義 高齢者歯科学 演習 臨床検査	演習 口腔機能管理学	講義 衛生学・公衆衛生学 講義 衛生行政・社会福祉論 演習 口腔衛生学 II (統計学含む) 演習 歯科衛生学の統合と実践 演習 専門職連携演習 演習 救命救急法	講義 総合歯科医学セミナー
	演習 歯科保存学 講義 小児歯科学 講義 歯周病学	演習 歯周病予防法 I 演習 歯周病予防法実習 I 演習 う蝕予防法 演習 歯科保健指導論 I 演習 栄養指導 演習 歯科材料学	演習 歯周病予防法 II 演習 歯周病予防法実習 II 演習 歯科保健指導論 II 演習 歯科診療補助論 II 実習 臨地実習 II 実習 臨地実習 III	演習 歯科保健指導演習 演習 歯科診療補助演習	演習 歯科予防処置実践実習 演習 歯科保健指導論 III 演習 臨地実習 IV 演習 臨地実習 V	
	講義 歯科予防処置論基礎 講義 歯科保健指導論基礎 演習 歯科診療補助論 I 実習 臨地実習 I	演習 人間関係論 講義 心理学 演習 教育方法論 講義 社会人基礎講座 I 講義 情報処理 I	講義 歯科英語	演習 歯科予防処置実践実習 演習 歯科保健指導論 III	講義 社会人基礎講座 II 講義 情報処理 II	
スケジュール	4月 ●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション ●新入生歓迎行事 5月 6月 ●臨地実習 ●見学実習 (小学校) 7月 ●穴吹祭 8月 ●夏休み ●見学実習 (保育園、小学校、高齢者施設) ●スポーツ大会 ●見学実習 (保育園、高齢者施設) 9月	10月 11月 12月 ●冬休み 1月 2月 3月 ●医療系海外研修 (※希望者) ●春休み	4月 ●新入生歓迎行事 5月 ●小学校保健指導 6月 7月 ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●スポーツ大会	10月 ●臨地実習 (訪問歯科) ●宣誓式 11月 12月 ●冬休み 1月 ●一歳半検診 (1~3月) 2月 3月 ●春休み	4月 ●新入生歓迎行事 5月 ●臨地実習 (高齢者口腔ケア) (5~7月) 6月 7月 ●穴吹祭 8月 ●夏休み ●保育園保健指導 9月 ●スポーツ大会	10月 ●高齢者施設実習 (10~12月) 11月 ●特別支援学校保健指導 12月 ●冬休み 1月 2月 3月 ●歯科衛生士国家試験 ●卒業式

主な科目内容	
人間関係論	患者と向き合い、不安や緊張を安心へと導くコミュニケーションの基本知識と実践力を身につける。教育理念であるホスピタリティ実現に向けた土台作りをする。
歯科英語	国際化、情報化社会に対応しうる能力として歯科英語の基礎を学び、現場で簡単な会話ができるよう英会話についても学ぶ。
解剖学・組織発生学	全身構造と各器官・機能を理解する。特に口腔を含む顎顔面部は独立して存在するのではなく、全身の一部であることを理解する。
栄養と代謝	歯科衛生士として必要な栄養学の基礎知識と栄養素の基本的な役割を学び、歯科保健指導ができる能力を養う。また、予防や教育の支援を行う能力を養う観点から、疾病の予防と回復過程に関する知識を培う。
口腔解剖学・歯牙解剖学	口腔内の構造や歯、および歯周組織を解剖学的見地から学び、その知識を身につけ、形態的特徴を説明できるようになる。
口腔病理学	口腔病変の診断、治療、ならびに予防に関する知識を身につけ、歯科衛生士として将来患者への説明などが行えるようになる。
薬理学	歯科臨床における薬物療法の基礎概念、ならびに歯科薬物作用と薬物使用の実際についてその知識を身につける。
歯科衛生士概論	歯科衛生を実施する健康支援者としての将来像をイメージし、保健医療人としての態度について理解する。
口腔衛生学 I・II	個人・集団に対する歯科予防処置、健康の保持、増進、歯科保健指導を実施するための口腔保健に関する基礎的な知識を習得し、ヘルスサービスを提供する能力を身につける。
衛生行政・社会福祉論	人々の健康に関するセルフケア能力を高めるために必要な教育的役割を知り、各関係機関等との調整能力を高める態度を養う。
歯科保存学	齲蝕などによる硬組織の欠損、歯髄疾患、根尖性歯周炎など歯周組織の病変の進行を抑制し、治療および機能回復を図る治療法の知識を学ぶ。
歯周病学	歯周組織における疾患と治療を学ぶ。歯科衛生士のために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法及び治療法について理解する。
歯科補綴学	歯科補綴臨床の基本的知識、治療の流れを理解し、診療補助および術前、術後の口腔ケア指導も行う知識と技術を習得する。
高齢者歯科学	高齢者の歯科医療に関わる技術と高齢者の心と身体にどう接するかを学び、口腔の健康維持増進のため高齢者の生活の場への関わり方を身につける。
歯周病予防法 I・II	歯周病予防に関する基本的知識と予防処置技術の基礎を身につける。
歯科予防処置実践実習	歯科衛生士に必要な手技における基本操作を習得する。段階的に習得できるよう基本、総合的、実践的な実習を行う。
歯科保健指導論 I・II・III	高齢社会に目を向け、高齢者、障害者を対象とした対象者別の歯科保健指導ができる能力を養う。
歯科保健指導演習	小集団指導の実践と、各ライフステージにおける集団保健指導を行うために、グループ学習で企画力やコミュニケーション能力を身につける。
歯科診療補助論 I・II	歯科診療補助の業務体系を法的に理解し、チーム医療の実現、臨床における様々な状況に対応しうる判断力、倫理観を身につけるための知識を習得する。
歯科診療補助演習	歯科診療補助の業務の基礎を理解し、歯科医師と円滑なチーム医療を実現するために必要な知識と技術を演習によって身につける。
臨地実習 I・II・III・IV・V	歯科衛生士の役割を理解し、基礎技術から専門技術やチーム医療まで体系的に学び、コミュニケーション能力や保健指導も含めて臨床の場で知識と技術を習得する。
口腔機能管理学	口腔機能の管理と指導を行うため、専門的知識、技術および態度を習得する。
専門職連携演習	医療チームの一員としてまたは、医療の包括的な支援サービス提供の場において他職種と連携できる歯科衛生士となるために必要な知識、技術および態度を習得する。
歯科衛生学の統合と実践	歯科衛生士業務に関わる学問をさらに体系的に学ぶよう、歯科衛生過程の内容をより実践的に学ぶ。
社会人基礎講座 I・II	円滑な就職活動のために社会人としての基本的マナーや、主体的に自己のキャリアデザインに取り組む姿勢を身につける。
心理学	人と関わる業務を行うために知っておいた方がよい知識として、一般的な心理学の基本的な枠組みを学び、発達心理学についても学習する。
解剖学・組織発生学	人体の構造や機能とともにその成り立ちについても学び、歯科衛生士に必要な口腔の組織、発生について理解する。
衛生学・公衆衛生学	公衆衛生の基本概念を理解し、個人および集団に対する、健康の保持、増進および歯科保健指導を実施するための仕組み、口腔保健に関する基礎的な知識を習得する。
小児歯科学	心身の発達変化と生理的特徴および口腔領域の正常な発育と異常・疾患、小児歯科特有の歯冠修復法・歯内療法、咬合誘導の概要を学び、歯科衛生士の役割である小児の口腔保健管理を学ぶ。
口腔外科学・麻酔学	口腔外科学は、口腔および顎顔面に現れる先天性または後天性または後天的疾患について、その原因、病理、症状、診断、治療、予後などを学ぶ。
歯科矯正学	不正咬合 (咬合異常) や咀嚼障害の原因・治療およびその予防法についての知識と技術を身につける。
障害者歯科学	身体的、知的、あるいは精神的な障害のある人に対する理解と知識を身につけ、摂食・嚥下障害などに対するライフサポートができる。
う蝕予防法	個人および集団に対する歯科予防処置、健康の保持、増進および歯科保健指導を実施するための口腔保健に関する基礎的な知識を習得する。
歯科材料学	歯科衛生士としての職責をもって歯科臨床においてコ・ディンタルスタッフとして歯科材料の知識を備え基本的な使用法を実践できるようになる。
総合歯科医学セミナー	3年次の知識の集大成として、歯科臨床分野について深く理解する。臨床実習とともにふり返ることで知識の定着を図る。

医療事務・ドクター秘書学科 [2年制/男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

医療事務・ドクター秘書学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 保険請求事務知識を習得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- 3 患者に誠実に向き合う人間力、接遇を真剣に獲得しようとする人
- 4 地域医療のために役割を果たす医療人へと成長していこうとする意欲をもった人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

医療事務・ドクター秘書学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の診療報酬請求事務知識と保険知識ならびに関連法規を体系的に学び、検定試験に合格できる授業構成とする
- 2 病院の顔となる医療事務員やドクター秘書として対応できる接遇、事務員としてはパソコン操作スキルや文書作成等を演習を中心として授業を実施する
- 3 社会人として即戦力となるべきコミュニケーション力を高め、チーム医療の一員として活躍できる他職種連携を意識した主体的・対話的な授業を実施する
- 4 医療現場と連携をとりながら、法改正等社会に変化に対応した内容の授業を実施する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

医療事務・ドクター秘書学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 医療と福祉のすべての施設で働けるように「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の5つの分野の知識を習得し、地域社会・国際社会に貢献できる
- 2 日本の保険制度の全体像と各種保険制度の知識から診療報酬請求事務知識とパソコン技能などの現場対応力を身につけている
- 3 他職種と連携を取りながらメディカルスタッフの一員として常に患者とその家族に安心感を与えられる接遇を身につけている
- 4 入職後も校訓「日々は前進」の精神で変化し続ける社会や法改正に対応できるよう自ら学び続ける力を身につけている

目指す資格

- メディカルクラーク (医科) (歯科)
- 調剤事務管理士
- 介護事務管理士
- ドクターズクラーク
- 医療秘書検定
- サーティファイ認定 (Word、Excel)
- 日商簿記検定
- 歯科助手技能認定
- ビジネス文書検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	医療保険制度や診療報酬の医科・調剤の基礎知識を学び、レセプト作成技術を習得する。またWord、Excel、簿記などの知識や技術やコミュニケーション力も身につける。	医科・調剤の検定合格、さらに歯科保険請求事務知識や医師事務作業補助業務の知識を習得する。就職活動に向けての社会人基礎知識も習得する。	歯科・介護の検定合格、さらに医科・調剤の基礎知識をもとにレセプトコンピュータの操作技術も習得する。手話も含め就職面接に対応できるコミュニケーション力を身につける。	歯科助手や電子カルテなどの演習を通して技術を身につけ、さらには研究課題演習を通し、自らの疑問に対して答えを導き出す力やプレゼンテーション力も身につける。
カリキュラム	講義 医療事務	講義 医療事務	講義 医師事務作業補助Ⅱ	
	講義 医療関連法規	講義 医療秘書	講義 調剤事務Ⅱ	
	講義 調剤事務Ⅰ	講義 医師事務作業補助Ⅰ	講義 歯科事務Ⅱ	
		講義 調剤事務Ⅰ	講義 介護事務	
		講義 歯科事務Ⅰ	講義 病院管理学	
	講義 人体構造・機能論		演習 コンピュータ演習Ⅱ	演習 コンピュータ演習Ⅲ
	演習 コンピュータ演習Ⅰ	演習 コンピュータ演習Ⅰ	演習 医療コンピュータ演習Ⅰ	演習 医療コンピュータ演習Ⅱ
			演習 介護コンピュータ演習	
	演習 コミュニケーショントレーニング	演習 コミュニケーショントレーニング	演習 プレゼン演習	演習 電子カルテ演習
	講義 簿記	講義 簿記	演習 手話	演習 研究課題演習Ⅱ・Ⅲ
演習 メディカルマナーⅠ	演習 メディカルマナーⅡ	演習 研究課題演習Ⅰ	演習 研究課題演習Ⅱ・Ⅲ	
	演習 社会人基礎講座Ⅰ	演習 メディカルマナーⅢ	演習 歯科助手演習	
	実習 医療機関実習Ⅰ	演習 社会人基礎講座Ⅱ	演習 社会人基礎講座Ⅲ	
		実習 医療機関実習Ⅱ		
スケジュール	4月 ●入学前セミナー ●入学式 ●新入生オリエンテーション ●新入生歓迎行事	10月 ●始業式 (後期)	4月 ●新入生歓迎行事 ●始業式 (前期)	10月 ●始業式 (後期)
	5月	11月 ●医療秘書検定 ●日商 (全経) 簿記検定	5月 ●メディカルクラーク (歯科)	11月 ●ビジネス文書検定
	6月	12月 ●メディカルクラーク (医科) ●冬休み	6月	12月 ●冬休み
	7月 ●穴吹祭	1月 ●調剤事務管理士	7月 ●介護事務管理士 ●ドクターズクラーク ●就職研修 ●穴吹祭	1月
	8月 ●サーティファイ認定 (Word) ●夏休み	2月 ●サーティファイ認定 (Excel) ●医療機関実習Ⅰ ●終業式 (後期) ●実習報告会	8月 ●医療機関実習Ⅱ ●夏休み	2月 ●研究課題発表 ●学内学術大会
	9月 ●スポーツ大会 ●実習報告会	3月 ●春休み	9月 ●スポーツ大会 ●実習報告会	3月 ●卒業式

主な科目内容	
医療事務	医療保険制度・診療報酬算定・公費負担制度を理解し、医科点数表をもとに診療録から診療報酬明細書の作成を学ぶ。
調剤事務Ⅰ・Ⅱ	薬剤に関する基礎知識と各疾患別の投薬に関する知識を学ぶ。また、調剤報酬請求の知識をもとにレセプトの書き方を学び、レセプトコンピュータの操作技術も学ぶ。
歯科事務Ⅰ・Ⅱ	歯科診療の基礎となる口腔の知識も合わせて学び、歯科のレセプトが作れるだけでなく、幅広い歯科の知識を習得する。
介護事務	介護保険制度の仕組みを理解し、居宅サービスおよび施設レセプトを作成できる。
医師事務作業補助Ⅰ・Ⅱ	医師事務作業補助者の業務内容と役割を理解し、各医療文書を作成できるようにする。
医療関連法規	医療保険制度、診療報酬算定、公費負担制度など法の概念と制度の仕組みを理解し、保険請求事務業務の意味を知る。
医療秘書	医療秘書として必要な秘書的技能、医学関連知識、医療用語の知識を身につける。
コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	Wordを使った一般的な文書作成の基礎と文書表現の方法、またExcelソフトの基礎を理解し、パソコンを使った表およびグラフが作成できる技能を学ぶ。
医療コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ	基本的な医療保険請求事務と手書きレセプト演習の知識をもとに医療事務コンピュータでの操作技術を学び、レセプトコンピュータソフトを使いこなせる技術を身につける。
介護コンピュータ演習	介護保険コンピュータソフトを操作しながら問題演習を解くことにより、介護保険制度自体の理解を深め、介護保険コンピュータソフトを使いこなせる技術を身につける。
コミュニケーショントレーニング	コミュニケーションの大切さを学び、ビジネスシーンにも通用するプレゼンテーション技法の基礎を身につける。より効果的な相互コミュニケーションの取り方を主体的に学ぶ。
人体構造・機能論	人体の基本的仕組みを系統的に理解すること (解剖学・組織学) と、その動き (生理学) を学び、生命の「いとなみ」の基本を学ぶ。
簿記	簿記を学習することにより社会に出てから役立つ計数感覚を身につけ、基礎的な簿記原理・記帳・決算などに関する初歩的な経理実務を理解し身につける。
メディカルマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ	受付事務員としての接遇マナーの重要性を理解し、基本知識・技能を学び、患者とのやり取りの中での受け答えがロールプレイングを通してできるようにする。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就職活動の面接に対応できるような自己分析や業界研究を行い、また一般教養の基礎知識やマナーを習得し、就職試験に対応できる力をつける。
医療機関実習Ⅰ・Ⅱ	医療機関における医療事務員の働きや役割を知るとともに業務の流れを理解し、実際の窓口業務を実習を通して学ぶ。
手話	聴覚障害の特性や聴覚障害者の生活およびコミュニケーション方法を理解することを目的とし、手話技能を学ぶ。
研究課題演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	グループごとにテーマを決めて研究、発表を行う。医療事務職として学会等で発表する機会に向けて、そのスキルを身につける。
プレゼン演習	PowerPointによる資料の作成、発表、講評を行うことで、実践的な理解およびコミュニケーション能力を高める。
病院管理学	医療事故、院内感染防止対策や個人情報保護対策などの安全管理対策に関する法令等の知識や、医療機関で働くにあたっての医療従事者等の職業理解を深める。
電子カルテ演習	診断書などの文書作成補助、診療録記録への代行入力等電子カルテシステムで利用する技術と知識およびDPCに対する理解と知識も身につける。
歯科助手演習	歯科助手として活躍できる人材を目指し、実際の歯科医院を想定して診療助技術を学ぶ。

2021年度 卒業生就職先一覧 （順不同）

就職先	所在地
穴吹医療大学校 看護学科	
医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院	沖縄県
医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院	神奈川県
医療法人錦秀会	大阪府
医療法人光生会 光生会病院	愛知県
医療法人社団三愛会 三船病院	香川県
医療法人社団重仁 まるがめ医療センター	香川県
医療法人社団松和会 池上総合病院	東京都
医療法人社団仁康会 本郷中央病院	広島県
医療法人社団明芳会 新戸塚病院	神奈川県
医療法人仙養会 北摂総合病院	大阪府
医療法人博愛会 牧港中央病院	沖縄県
医療法人和の会 与那原中央病院	沖縄県
沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	沖縄県
沖縄県病院事業局	沖縄県
公益財団法人甲南会 甲南医療センター	兵庫県
公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	神奈川県
香川医療生活協同組合 高松平和病院	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院	香川県
香川県病院局	香川県
高松市立みんなの病院	香川県
国家公務員共済組合連合会 KKR高松病院	香川県
三豊市立永康病院	香川県
三豊総合病院企業団	香川県
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県
社会医療法人真泉会 今治第一病院	愛媛県

2022年度 卒業生就職先一覧 （順不同）

就職先	所在地
穴吹医療大学校 看護学科	
医療法人沖繩徳洲会 南部徳洲会病院	沖縄県
医療法人社団恵仁会 府中恵仁会病院	東京都
医療法人社団寿愛会 羽崎病院	香川県
医療法人社団重仁 まるがめ医療センター	香川県
医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	千葉県
医療法人社団八葉会 大石記念病院	東京都
医療法人仁友会 南松山病院	愛媛県
医療法人博愛会 牧港中央病院	沖縄県
沖縄医療生活協同組合	沖縄県
沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	沖縄県
沖縄県病院事業局	沖縄県
公益財団法人操風会 岡山旭東病院	岡山県
香川医療生活協同組合 高松平和病院	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院	香川県
香川県病院局	香川県
高松市病院局 高松市立みんなの病院	香川県
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県
社会医療法人敬愛会 中頭病院	沖縄県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
社会医療法人財団池友会 福岡和白病院	福岡県
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	福岡県
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	沖縄県
社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市南部病院	神奈川県
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院	東京都
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会茨木病院	大阪府
社会福祉法人恩賜財団 香川県済生会 香川県済生会病院	香川県
地方独立行政法人 那覇市立病院	沖縄県
独立行政法人国立病院機構 兵庫中央病院	兵庫県
日本赤十字社 沖縄赤十字病院	沖縄県
日本赤十字社 高松赤十字病院	香川県

就職先	所在地
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	沖縄県
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	沖縄県
社会医療法人有隣会 東大阪病院	大阪府
社会福祉法人恩賜財 済生会支部 大阪府済生会泉尾病院	大阪府
社会福祉法人恩賜財団済生会 岡山済生会総合病院	岡山県
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会 川口総合病院	埼玉県
宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団 神戸アドベンチスト病院	兵庫県
倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院	岡山県
地方独立行政法人 那覇市立病院	沖縄県
地方独立行政法人市立東大阪医療センター	大阪府
東京都立多摩総合医療センター	東京都
徳島健康生活協同組合 徳島健生病院	徳島県
独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院	香川県
日本赤十字社 高松赤十字病院	香川県
穴吹医療大学校 歯科衛生学科	
あさはら歯科	香川県
いぬい歯科えり矯正歯科	香川県
医療法人昭和会 川上矯正歯科医院	香川県
かたぎり歯科クリニック	香川県
げんき歯科・矯正歯科	香川県
しもむら歯科医院	香川県
せお歯科クリニック	香川県
みらい歯科クリニック	香川県
医療法人しらい歯科クリニック	香川県
医療法人にいもと歯科医院	大阪府
医療法人みどりの歯科医院	香川県
医療法人栄信会 とだ歯科医院	広島県

就職先	所在地
医療法人歯っぴー	香川県
医療法人社団グローバル会 デンタルステーション谷本歯科医院	香川県
医療法人社団タカシ歯科クリニック	香川県
医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団雅月会 いちはら歯科クリニック	香川県
医療法人社団叶夢会 やまだ歯科クリニック	香川県
医療法人社団健歯会 東小金井歯科CLINIC	東京都
医療法人社団秋桜会 木谷歯科医院	香川県
医療法人社団智美会 ブラザ若葉歯科	埼玉県
吉村歯科・吉村矯正歯科	大阪府
空と海の歯科クリニック	香川県
新津田沼歯科クリニック奏の杜	千葉県
大西歯科医院	香川県
兵庫町歯科	香川県

穴吹医療大学校 医療事務・ドクター秘書学科

医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団耕寿会 河田歯科医院	香川県
医療法人社団大塚整形外科医院	香川県
医療法人社団蓮成会 蓮井歯科・ファミリークリニック	香川県
株式会社四電技術コンサルタント	香川県
株式会社西日本ファーマシー	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院	香川県
板東歯科医院 南昭とオフィス	徳島県

就職先	所在地
穴吹医療大学校 医療事務・ドクター秘書学科	
いぬい歯科えり矯正歯科	香川県
株式会社アインホールディングス	香川県
株式会社フェイスグループ	香川県
医療法人 杓永整形外科	岡山県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団 高松内視鏡診断クリニック	香川県
医療法人社団なつめ会 美術館診療所	香川県
医療法人社団みどり会 加藤病院	香川県
医療法人社団秋桜会 木谷歯科医院	香川県
株式会社ファーマシィ	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県

2023年度 卒業生就職先一覧 （順不同）

就職先	所在地
穴吹医療大学校 看護学科	
IMSグループ 板橋中央総合病院	東京都
医療法人おもと会 大浜第一病院	沖縄県
さぬぎ市職員（さぬぎ市民病院）	香川県
医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院	沖縄県
社会医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院	東京都
医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院	兵庫県
医療法人徳洲会 南部徳洲会病院	沖縄県
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	愛知県
医療法人博愛会 牧港中央病院	沖縄県
沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	沖縄県
株式会社互惠会 大阪回生病院	大阪府
香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	香川県
高松市立みんなの病院	香川県
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	神奈川県
国立大学法人香川大学 香川大学医学部附属病院	香川県
三豊総合病院	香川県
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	沖縄県
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	沖縄県
社会医療法人敬愛会 中頭病院	沖縄県
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会中津病院	大阪府
社会福祉法人恩賜財団 香川県済生会病院	香川県
社会福祉法人恩賜財団 東京都済生会中央病院	東京都
独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院	香川県
独立行政法人地域医療連携推進機構 りつりん病院	香川県
愛媛県職員	愛媛県
医療法人専心会 西条市立周桑病院	愛媛県

就職先	所在地
医療法人社団三愛会 三船病院	香川県
医療法人社団重仁 まるがめ医療センター	香川県
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	千葉県
医療法人徳洲会 和泉市立総合医療センター	大阪府
沖縄県病院事業局	沖縄県
日本赤十字社 高松赤十字病院	香川県
社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市南部病院	神奈川県
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	大阪府
地方独立行政法人 那覇市立病院	沖縄県
徳島県厚生農業協同組合連合会 吉野川医療センター	徳島県
独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	鳥取県
穴吹医療大学校 歯科衛生学科	
かたぎり歯科クリニック	香川県
医療法人歯っぴー こうだOCEAN歯科	香川県
医療法人歯っぴー 丸亀こうだ歯科医院	香川県
たけだ歯科クリニック	沖縄県
にしむら歯科医院	徳島県
はしもと歯科	香川県
ひらの歯科	香川県
みぎ歯科三越通りクリニック	香川県
ムツミ歯科医院	香川県
伊東歯科矯正歯科医院	香川県
医療法人翠山会 天六ほのぼの歯科	大阪府
医療法人社団アップル歯科クリニック 梅田アップル歯科	大阪府
医療法人社団 しのまる歯科ゆかり矯正こども歯科	香川県

就職先	所在地
医療法人社団 にこにこ歯科	香川県
医療法人社団 小野歯科医院	香川県
医療法人社団 青田歯科	香川県
医療法人宝永会 藤田歯科医院	大阪府
三豊総合病院	香川県
森岡歯科	大阪府
藤村歯科医院	愛媛県

穴吹医療大学校 医療事務・ドクター秘書学科

医療法人歯っぴー こうだおとこども歯科	香川県
医療法人仁寿会 吉田病院	香川県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団龍里会 わたなべ耳鼻咽喉科	香川県
株式会社アインファーマシーズ	香川県
株式会社ザグザグ	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
社会医療法人石川記念会 HITO病院	愛媛県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
百十四リース株式会社	香川県